

# 1- 教務部集計結果

総合判定 合算(A+B)

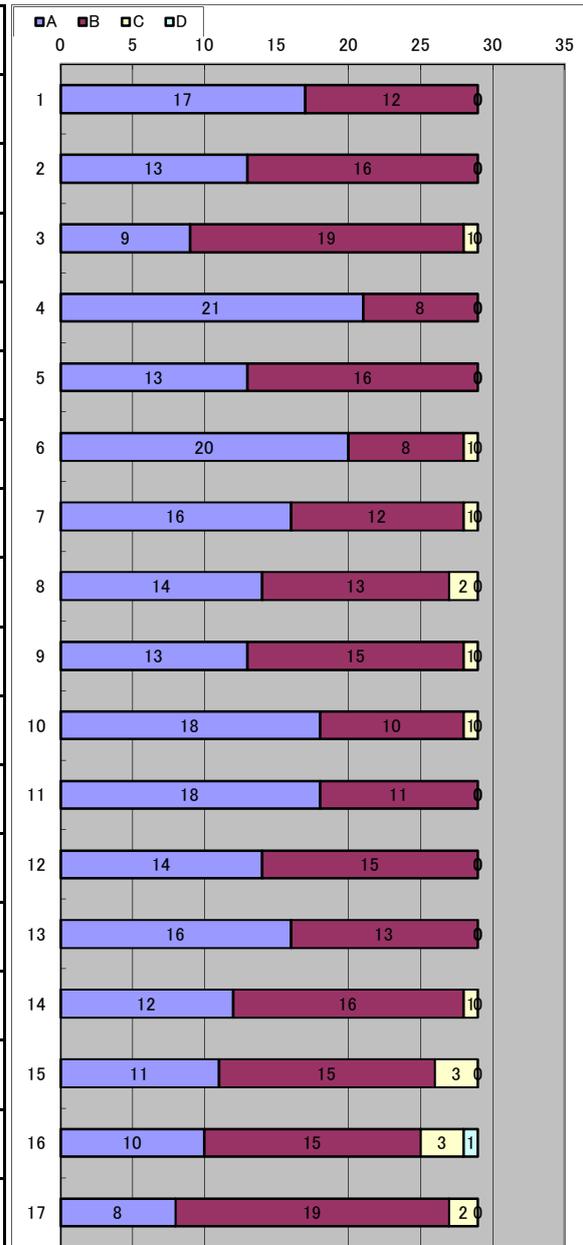
◎=80%以上 △=79~50% ×=49%以下

A=よくあてはまる

B=ややあてはまる

C=あまりあてはまらない D=まったくあてはまらない

番号	診断項目	回答数(人)				総合判定
		A	B	C	D	
1	教育目標は、学校の実態に即した目標が適切に設定されている。	17	12	0	0	◎
2	生徒や保護者に対して教育目標や重点を分かりやすく示している。	13	16	0	0	◎
3	学校全体の校務が円滑に推進できるよう、分掌相互の連携が図られている。	9	19	1	0	◎
4	全体朝礼・儀式等は、効率よく計画され円滑に実施されている。	21	8	0	0	◎
5	生徒の個性を伸ばし、進路希望の実現に結びつく教育課程を編成している。	13	16	0	0	◎
6	行事の精選や時間割変更などにより、授業確保の努力がなされている。	20	8	1	0	◎
7	生徒一人一人の習熟度に応じた指導法の研究がなされている。	16	12	1	0	◎
8	研究授業など教職員相互の研究を推進している。	14	13	2	0	◎
9	考査問題の作成および結果についての相互検討の推進と、それに基づく事後指導の徹底が図られている。	13	15	1	0	◎
10	「総合的な学習・探究の時間」は、そのねらいを達成するための計画・実践がなされ、時数が確保されている。	18	10	1	0	◎
11	学校の伝統・校風を大切にしながら、特色ある学校行事の創意工夫を行っている。	18	11	0	0	◎
12	学校と保護者が連携し、協力体制が図られている。	14	15	0	0	◎
13	PTA活動が活発に行われ、学校もその活動を積極的に支援している。	16	13	0	0	◎
14	中学校や地域・関係機関等との連携に向けて、具体的な取り組みが行われている。	12	16	1	0	◎
15	保護者や地域の意見を聞き、その信頼と期待に応えていこうと努めている。	11	15	3	0	◎
16	パソコンによる校務処理により、データの共有化と職務の効率化が図られている。	10	15	3	1	◎
17	様々な教育課題を踏まえた校内研修が計画・実施されている。	8	19	2	0	◎



## 2- 生徒指導部集計結果

総合判定 合算(A+B)

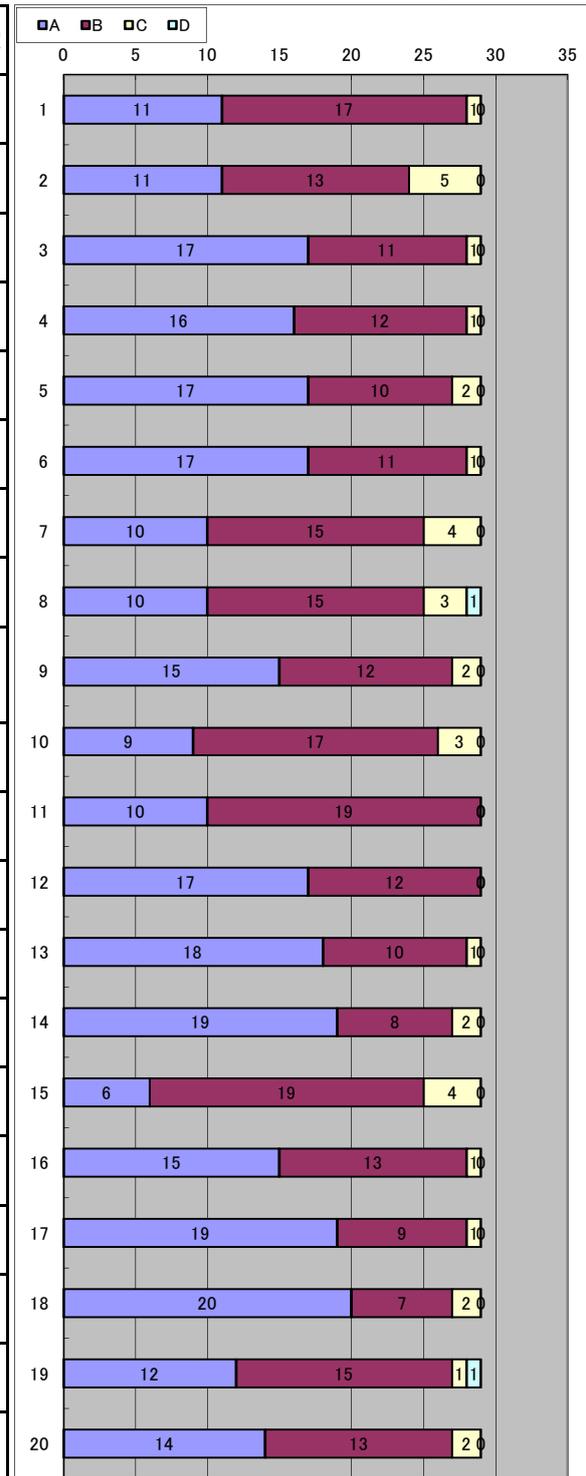
◎=80%以上 △=79~50% ×=49%以下

A=よくあてはまる

B=ややあてはまる

C=あまりあてはまらない D=まったくあてはまらない

番号	診断項目	回答数(人)				総合判定
		A	B	C	D	
1	校内分掌は、学校の実情や基本方針に応じて人員が配置されている。	11	17	1	0	◎
2	「生徒指導は全職員で行う」という共通理解と指導体制が確立されている。	11	13	5	0	◎
3	命の大切さや人権を尊重する心(いじめに関する教育)など、豊かな心を育てる努力をしている。	17	11	1	0	◎
4	日頃から、問題行動や事故等を未然に防ぐための安全確保に努めている。	16	12	1	0	◎
5	地域社会から本校が信頼を得ているか確認し、「魅力ある学校づくり」を目指し、学校の活性化に努めている。	17	10	2	0	◎
6	生徒の基本的な生活習慣の確立を図るとともに社会規範を遵守できる自律心と礼儀作法を育成している。	17	11	1	0	◎
7	諸活動を通し、自主的活動を引き出すとともに、学校生活に目標を持たせ、中途退学の未然防止に努めている。	10	15	4	0	◎
8	教師の資質向上や実践的指導力を養うとともに、学校の活性化につながる研修を企画・実施している。	10	15	3	1	◎
9	きめ細かな教育相談の研究と実践が行われており、問題がみられる生徒にはよく意思疎通を図り、的確に指導している。	15	12	2	0	◎
10	全体集合時等機敏に行動し、私語をしない態度の育成がなされている。	9	17	3	0	◎
11	部活動と学業との両立を目標として、日常的に生徒と交流を図り、学校活性化に役立っている。	10	19	0	0	◎
12	生徒会役員(執行部・HR委員等)にリーダーとして自覚と責任を持たせ、生活や行事に意欲的に取り組ませて	17	12	0	0	◎
13	校内・校外巡回指導を必要に応じて実施し、生徒の問題行動防止に努めている。	18	10	1	0	◎
14	登下校指導・服装指導等を通して、あいさつの励行や交通安全指導を行っている。	19	8	2	0	◎
15	生活のリズムが整っていない生徒を対象に、自学自習や過ごし方を指導している。	6	19	4	0	◎
16	職員間の連絡を密にしなが、生徒とコミュニケーションを図り、円滑な学校生活に積極的に取り組んでいる。	15	13	1	0	◎
17	読書の勧めと有効な図書整備・活用がなされており、図書館がさまざまな情報収集の場となっている。	19	9	1	0	◎
18	掲示板や図書館だよりを通じて新刊案内等の情報発信に取り組んでいる。	20	7	2	0	◎
19	家庭および関係機関・団体等との綿密な連携による校外指導が徹底されている。	12	15	1	1	◎
20	生徒の健全育成に向け、PTAと地域社会と連携し、その教育力を活用した取組が行われている。	14	13	2	0	◎



### 3- 進路指導部集計結果

総合判定 合算(A+B)

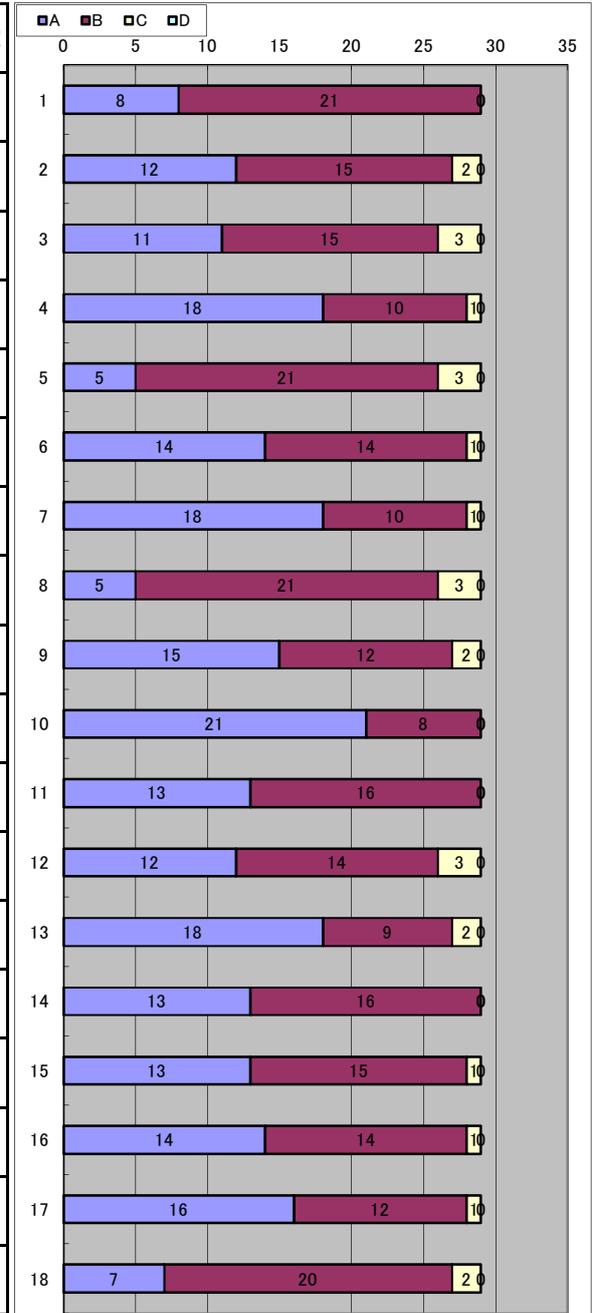
◎=80%以上 △=79~50% ×=49%以下

A=よくあてはまる

B=ややあてはまる

C=あまりあてはまらない D=まったくあてはまらない

番号	診断項目	回答数(人)				総合判定
		A	B	C	D	
1	個性・能力の啓発と、それに基づく進路の早期決定をはかり、進路目標を確立させている。	8	21	0	0	◎
2	学級担任・教科担任間の緊密な連携により、生徒の個性・能力の総合的な把握を推進している。	12	15	2	0	◎
3	学年間の連携により、段階を踏まえた指導計画・指導体制を確立している。	11	15	3	0	◎
4	進路情報を計画的に提供している。	18	10	1	0	◎
5	自主的な学習姿勢を育て、進路実現を進める進路体制を確立している。	5	21	3	0	◎
6	各係が仕事を分担し、積極的に生徒を指導し、的確な進路指導を目指している。	14	14	1	0	◎
7	朝課外の30分間は、有効に活用できている。	18	10	1	0	◎
8	宅習課題の適正化の研究・実施と宅習習慣の定着指導がなされている。	5	21	3	0	◎
9	夏季・冬季の課外は、現在の日数が適当である。	15	12	2	0	◎
10	列車通学生にとって、朝課外の開始時刻は現在のままでよい。	21	8	0	0	◎
11	土曜学習は、進路志望実現のための学力向上に役立っている。	13	16	0	0	◎
12	公務員・就職希望の生徒のための指導が適切に行われている。	12	14	3	0	◎
13	対外模試は、生徒の学力の把握、また生徒の学力向上に役立っている。	18	9	2	0	◎
14	小論文・志望理由書の指導は、進路意識の高揚に役立っている。	13	16	0	0	◎
15	実力考査は、生徒の学力向上、生徒の学力把握に役立っている。	13	15	1	0	◎
16	視聴覚教室での自学自習は、しっかり行われている。	14	14	1	0	◎
17	合格体験記は、1・2年生の進路指導に役立っている。	16	12	1	0	◎
18	生徒への進路指導は、保護者によく理解されている。	7	20	2	0	◎



## 4-1 保健部集計結果

総合判定 合算(A+B)

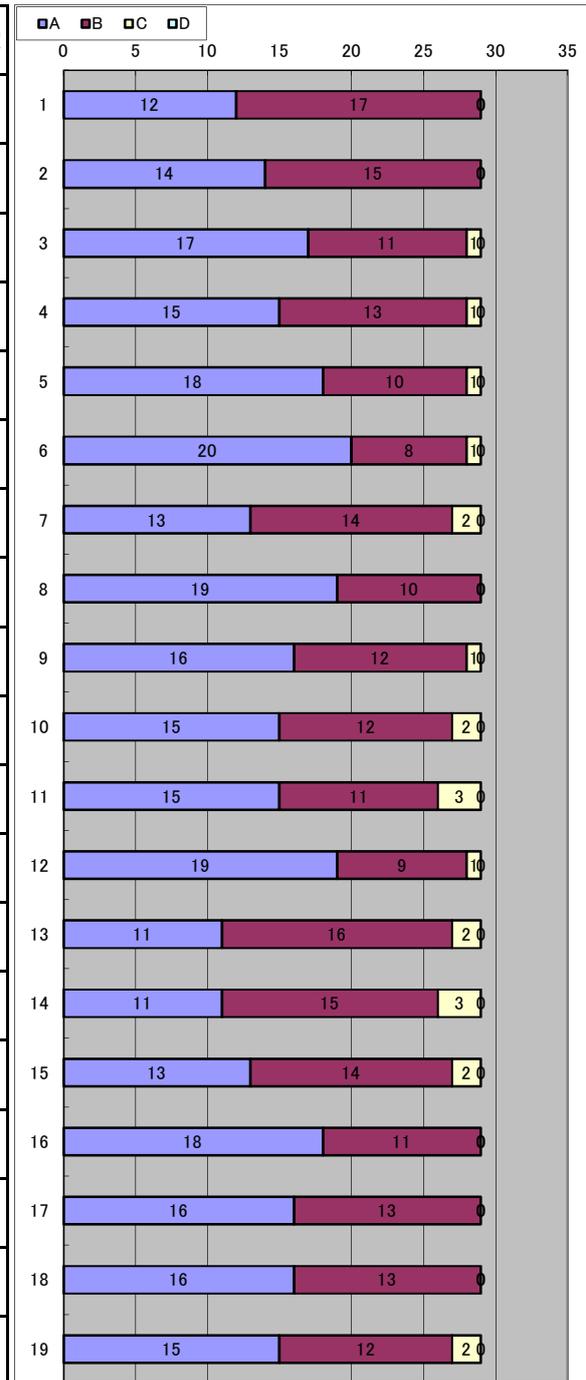
◎=80%以上 △=79~50% ×=49%以下

A=よくあてはまる

B=ややあてはまる

C=あまりあてはまらない D=まったくあてはまらない

番号	診断項目	回答数(人)				総合判定
		A	B	C	D	
1	保健行事や保健指導内容を綿密に計画し、保健部全体がスムーズに運営されている。	12	17	0	0	◎
2	各部や各委員会との連携を図り、学校全体で生徒の健康教育推進に取り組んでいる。	14	15	0	0	◎
3	学校保健委員会や生徒保健委員会は積極的に活動し、健康教育推進に取り組んでいる。	17	11	1	0	◎
4	保護者及び医療及び他の関係機関との連携強化が図られている。	15	13	1	0	◎
5	健康診断の確実な実施、実態の把握、事後指導が適切になされている。	18	10	1	0	◎
6	保健室来訪者や生活実態調査などにより悩みを抱える生徒の実態を把握し、適切な「心のケア」ができてい	20	8	1	0	◎
7	栄養・睡眠など基本的な生活習慣の指導を行い、実践に努めさせている。	13	14	2	0	◎
8	生徒指導部と連携し、喫煙防止及び薬物乱用防止の啓発がなされている。	19	10	0	0	◎
9	行事や体育の授業において、集団行動の指導に取り組んでいる。	16	12	1	0	◎
10	体育の授業や体育的行事を通して、運動技能や体力の向上が図られている。	15	12	2	0	◎
11	生徒の自主性をいかした体育的行事が行われている。	15	11	3	0	◎
12	人権尊重の視点に立ち、保健・安全指導に努めている。	19	9	1	0	◎
13	生徒職員が一体となり、校内の美化に努めている。	11	16	2	0	◎
14	生徒職員が一体となり、資源ゴミの分別収集に努めている。	11	15	3	0	◎
15	清掃用具の管理は適切に行われている。	13	14	2	0	◎
16	防火防災の訓練は綿密な計画のもと、的確に行われている。	18	11	0	0	◎
17	災害などに対する危機意識向上のための指導が適切に行われている。	16	13	0	0	◎
18	毎月の安全点検が確実にされ、早急でかつ的確な対応がなされている。	16	13	0	0	◎
19	公共物の使用の指導やリサイクルに努めるなど、環境保全率先行計画を推進している。	15	12	2	0	◎



## 5- 教職員自己評価集計結果

総合判定 合算(A+B)

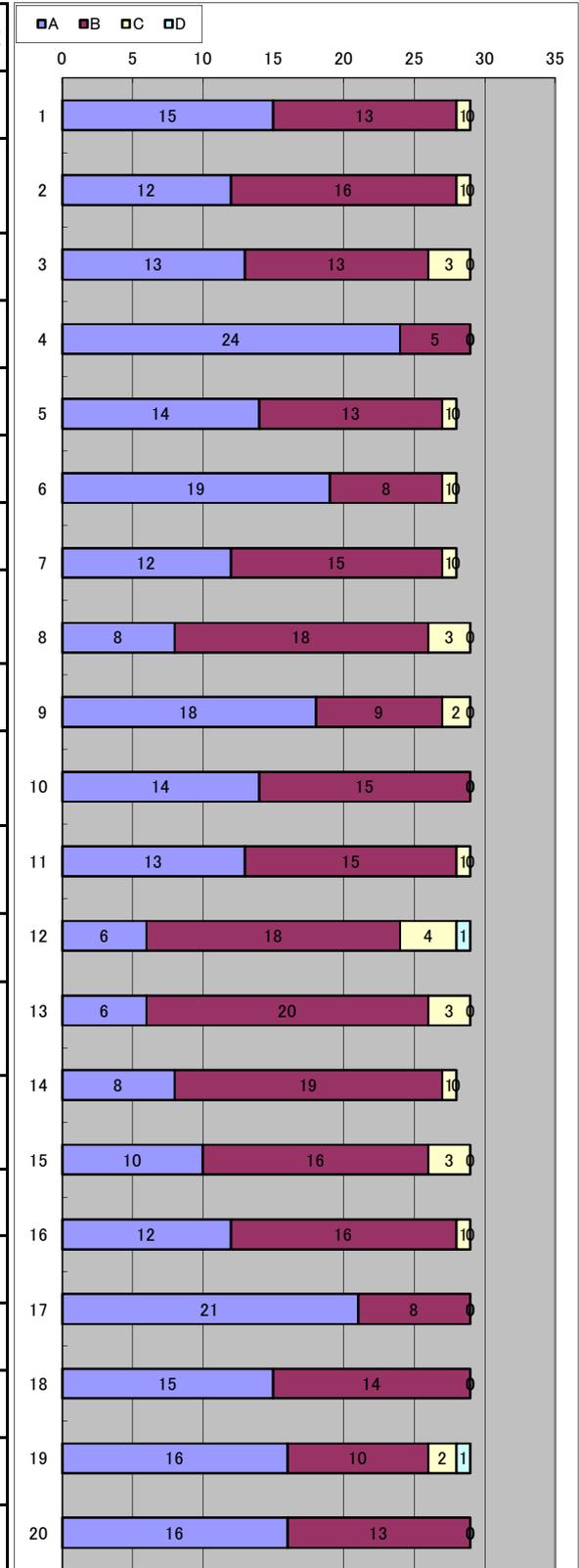
◎=80%以上 △=79~50% ×=49%以下

A=よくあてはまる

B=ややあてはまる

C=あまりあてはまらない D=まったくあてはまらない

番号	診断項目	回答数(人)				総合判定
		A	B	C	D	
1	本校の課題を十分認識し、その解決のために日ごろの教育活動を積極的に行っている。	15	13	1	0	◎
2	社会変化に対応するため、教育に関する提言や地域の意見等の情報を積極的に収集し、その理解・解決に努めている。	12	16	1	0	◎
3	各種研修会に意欲的に参加し資料を参考にするなど、自己研鑽を行っている。	13	13	3	0	◎
4	勤務の厳正化や服務規律の遵守について自覚して努力している。	24	5	0	0	◎
5	年間指導計画について教科で話し合ったものを生徒に提示し、計画的に授業を行っている。	14	13	1	0	◎
6	学力の実態に即し、教材研究・授業方法の工夫・改善を図っている。	19	8	1	0	◎
7	生徒の反応や意見を十分把握し、分かる授業を行っている。	12	15	1	0	◎
8	予習・復習や課題の内容についてはその妥当性を検討するとともに、実施状況や提出状況を常に点検し、指導の徹底を図っている。	8	18	3	0	◎
9	始業ベルと同時に授業を開始して、授業時間確保と生徒の授業態度の指導に努めている。	18	9	2	0	◎
10	一人一人の生徒の状況(学力・健康・心情・環境等)を把握するとともに、常に状況を観察して生徒理解に努めている。	14	15	0	0	◎
11	欠席・遅刻・早退、生徒の安全(事故・いじめ等)に関する状況を絶えず把握し、必要に応じて保護者と連絡を取っている。	13	15	1	0	◎
12	「向上の道」等を活用して、学習の習慣化の指導に努めている。	6	18	4	1	◎
13	特別活動(LHR・学校行事・生徒会活動等)に計画的に取り組みませ、生徒個々の活動についてもきちんと把握している。	6	20	3	0	◎
14	学級経営や授業の実践は学校の経営方針に従い、生徒の実態や保護者の願い・希望を十分踏まえながら行っている。	8	19	1	0	◎
15	各学年の進路指導計画に従って、生徒および保護者に情報を与え、的確な進路指導を行っている。	10	16	3	0	◎
16	生徒指導の方針をよく理解して生徒にきちんと説明し、日常生活指導に努めている。	12	16	1	0	◎
17	保健部の方針をよく理解し、清掃活動は生徒と共に取り組んでいる。	21	8	0	0	◎
18	学級に関する公簿の記入、管理は正確・適正に行っており、学級の施設・備品等の管理も適切に行っている。	15	14	0	0	◎
19	正・副担任でお互いに生徒に関する指導の経過や情報を伝え合い、常に協力して学級経営を行っている。	16	10	2	1	◎
20	校務分掌では自分の係の内容を把握し、工夫・改善しながら企画・運営に積極的に取り組んでいる。	16	13	0	0	◎



## 6- 生徒学校生活集計結果(1年)

総合判定 合算(A+B)

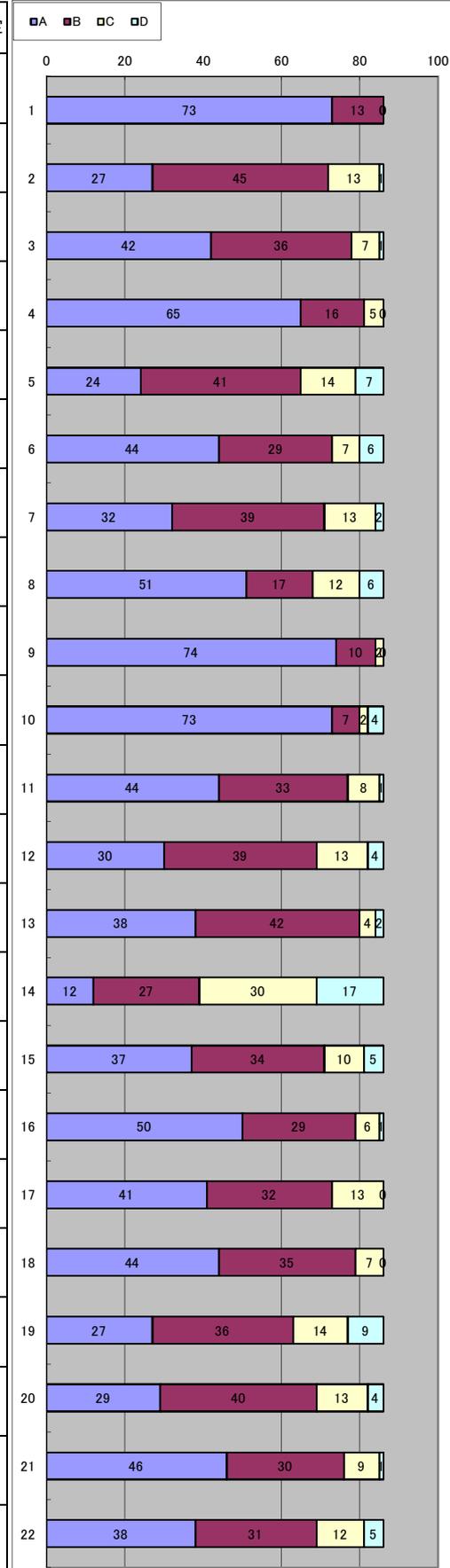
◎=80%以上 △=79~50% ×=49%以下

A=よくあてはまる

B=ややあてはまる

C=あまりあてはまらない D=まったくあてはまらない

番号	診断項目	回答数(人)				AとBの割合(%)	総合判定
		A	B	C	D		
1	体育祭、文化祭及び池田湖一周遠行などの学校行事には積極的に参加している。	73	13	0	0	100	◎
2	各種の講演会等は、自分の生き方や在り方を考える上で参考になっている。	27	45	13	1	84	◎
3	LHRや柏葉の時間は将来の進路を考えたり、学校生活を充実させたり、有意義な時間としている。	42	36	7	1	91	◎
4	朝読書(朝自習)の時間は落ち着いて読書(自習)をしている。	65	16	5	0	94	◎
5	保護者に学校の配布物をきちんと渡し、学校のことについても話している。	24	41	14	7	76	△
6	学校の雰囲気は良く、充実した日々を送ることができるので後輩にも勧められる学校である。	44	29	7	6	85	◎
7	日頃の生活や学習及び進路について、先生方から適切なアドバイスをもらっている。	32	39	13	2	83	◎
8	部活動や生徒会活動に積極的に参加し、他の人たちと協力しながら自分を向上させようと努めている。	51	17	12	6	79	△
9	交通ルールや社会生活のマナーを守っている。	74	10	2	0	98	◎
10	携帯電話、音声プレーヤー等を学校に持ち込んでいない。	73	7	2	4	93	◎
11	困っている人や手助けを求めている人に対して、進んで手を差し延べることができている。	44	33	8	1	90	◎
12	宅習や授業中のノートのとりかた、利用の仕方を工夫している。	30	39	13	4	80	◎
13	日々の授業に意欲的に臨み、学力向上に努めている。	38	42	4	2	93	◎
14	「進路だより」を読んでいる。	12	27	30	17	45	×
15	高校生として基本的な生活習慣を身につけ、食事や運動に注意し、健康管理に常に努力している。	37	34	10	5	83	◎
16	任された区域の清掃に一生懸命取り組んでいる。また、教室内の美化や教材等の整理整頓について日頃から意識して学校生活を送っている。	50	29	6	1	92	◎
17	地震や火災等の災害時にどのような行動をとるべきか理解している。	41	32	13	0	85	◎
18	先生方は生徒が意欲的に授業に取り組めるよう、指導法や課題等を工夫している。	44	35	7	0	92	◎
19	与えられた課題(宿題等)は、適切な量である。	27	36	14	9	73	△
20	先生方は日頃から声を掛けて、生徒の疑問・質問や悩みなどの相談によく応えてくれる。	29	40	13	4	80	◎
21	先生方は授業の終始のけじめや、自習に対する手立てをきちんとしている。	46	30	9	1	88	◎
22	先生方の、学校生活での生徒に対する態度は、すべての生徒に対して公正である。	38	31	12	5	80	◎



## 6-1 生徒学校生活集計結果(2年)

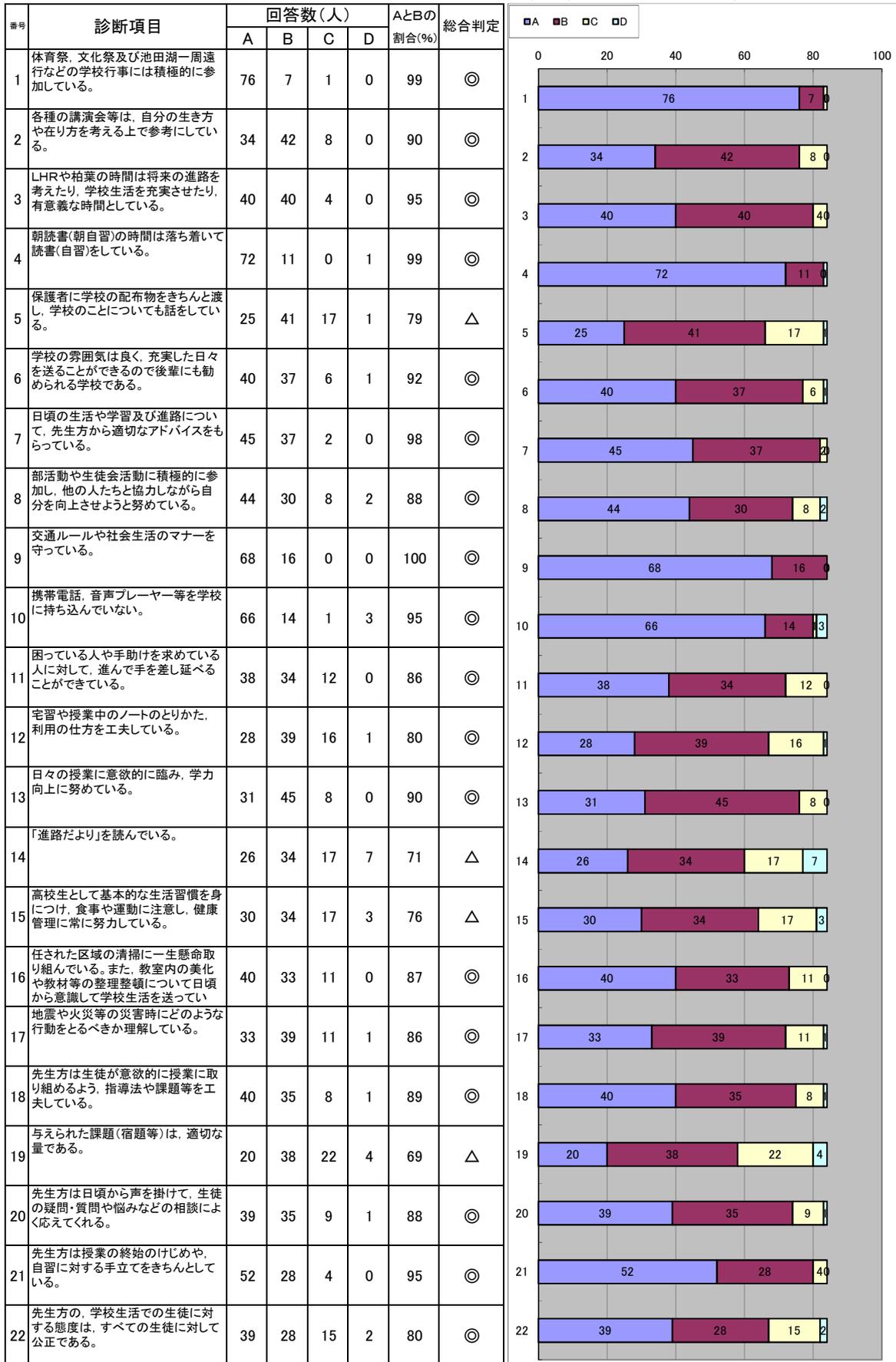
総合判定 合算(A+B)

◎=80%以上 △=79~50% ×=49%以下

A=よくあてはまる

B=ややあてはまる

C=あまりあてはまらない D=まったくあてはまらない



6-1 生徒学校生活集計結果(3年)

総合判定 合算(A+B)

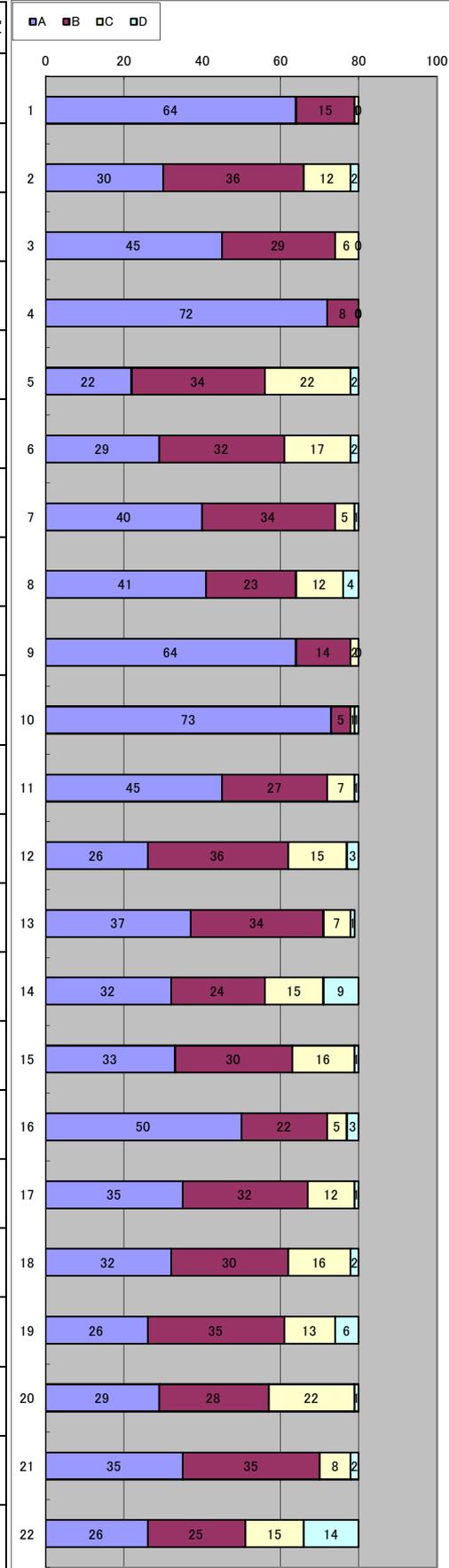
◎=80%以上 △=79~50% ×=49%以下

A=よくあてはまる

B=ややあてはまる

C=あまりあてはまらない D=まったくあてはまらない

番号	診断項目	回答数(人)				AとBの割合(%)	総合判定
		A	B	C	D		
1	体育祭、文化祭及び池田湖一周遠行などの学校行事には積極的に参加している。	64	15	1	0	99	◎
2	各種の講演会等は、自分の生き方や在り方を考える上で参考になっている。	30	36	12	2	83	◎
3	LHRや柏葉の時間は将来の進路を考えたり、学校生活を充実させたり、有意義な時間としている。	45	29	6	0	93	◎
4	朝読書(朝自習)の時間は落ち着いて読書(自習)をしている。	72	8	0	0	100	◎
5	保護者に学校の配布物をきちんと渡し、学校のことについても話している。	22	34	22	2	70	△
6	学校の雰囲気は良く、充実した日々を送ることができるので後輩にも勧められる学校である。	29	32	17	2	76	△
7	日頃の生活や学習及び進路について、先生方から適切なアドバイスをもらっている。	40	34	5	1	93	◎
8	部活動や生徒会活動に積極的に参加し、他の人たちと協力しながら自分を向上させようと努めている。	41	23	12	4	80	◎
9	交通ルールや社会生活のマナーを守っている。	64	14	2	0	98	◎
10	携帯電話、音声プレーヤー等を学校に持ち込んでいない。	73	5	1	1	98	◎
11	困っている人や手助けを求めている人に対して、進んで手を差し延べることができている。	45	27	7	1	90	◎
12	宅習や授業中のノートのとりかた、利用の仕方を工夫している。	26	36	15	3	78	△
13	日々の授業に意欲的に臨み、学力向上に努めている。	37	34	7	1	90	◎
14	「進路だより」を読んでいる。	32	24	15	9	70	△
15	高校生として基本的な生活習慣を身につけ、食事や運動に注意し、健康管理に常に努力している。	33	30	16	1	79	△
16	任された区域の清掃に一生懸命取り組んでいる。また、教室内の美化や教材等の整理整頓について日頃から意識して学校生活を送っている。	50	22	5	3	90	◎
17	地震や火災等の災害時にどのような行動をとるべきか理解している。	35	32	12	1	84	◎
18	先生方は生徒が意欲的に授業に取り組めるよう、指導法や課題等を工夫している。	32	30	16	2	78	△
19	与えられた課題(宿題等)は、適切な量である。	26	35	13	6	76	△
20	先生方は日頃から声を掛けて、生徒の疑問・質問や悩みなどの相談によく応えてくれる。	29	28	22	1	71	△
21	先生方は授業の終始のけじめや、自習に対する手立てをきちんとしている。	35	35	8	2	88	◎
22	先生方の、学校生活での生徒に対する態度は、すべての生徒に対して公正である。	26	25	15	14	64	△



## 7-1 保護者評価集計結果(全体)

総合判定 合算(A+B)

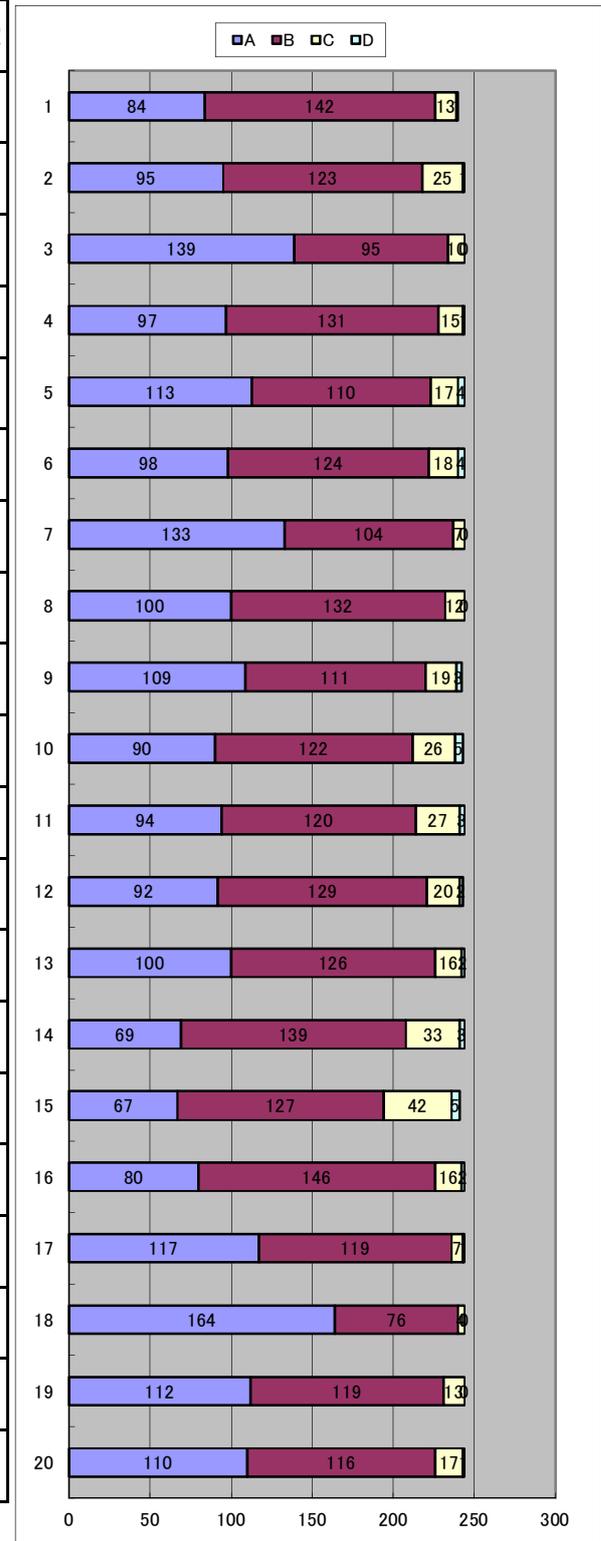
◎=80%以上 △=79~50% ×=49%以下

A=よくあてはまる

B=ややあてはまる

C=あまりあてはまらない D=まったくあてはまらない

番号	診断項目	回答数(人)				総合判定
		A	B	C	D	
1	教育方針・目標について保護者に十分説明がなされている。	84	142	13	1	◎
2	「柏葉通信」等、広報活動が良くなされており、学校の様子がよく分かる。	95	123	25	1	◎
3	生徒の動静(欠席・遅刻・早退)等について、互いの連携はよくとれている。	139	95	10	0	◎
4	PTA活動等を通して学校と保護者の協力体制が機能している。	97	131	15	1	◎
5	職員は熱意を持って適切な言動・態度で対応してくれる。	113	110	17	4	◎
6	生徒と教師の信頼関係に基づいた適切な指導が行われている。	98	124	18	4	◎
7	服装・髪型・あいさつなどきちんと指導がなされている。	133	104	7	0	◎
8	生徒は交通ルール、乗車マナーを守って通学している。	100	132	12	0	◎
9	部活動に力を注ぎ、生徒の心身の鍛錬・育成に努めている。	109	111	19	3	◎
10	職員のチームワークが良く、指導に信頼が置ける。	90	122	26	5	◎
11	生徒一人一人を大切に、個に応じた学習・進路指導がなされている。	94	120	27	3	◎
12	進路だよりや講演会等を通じて進路情報が適切に提供されている。	92	129	20	2	◎
13	進路実現のために、授業・課外等を通じて学力向上が図られている。	100	126	16	2	◎
14	学習内容及び課題の量は適切である。	69	139	33	3	◎
15	学習と部活動の両立がうまくなされている。	67	127	42	5	◎
16	生徒の健康保持・増進に向けた指導が適切に行われている。	80	146	16	2	◎
17	環境美化に努め、校内・学校周辺の清掃が適切になされている。	117	119	7	1	◎
18	文化祭・体育祭・遠行など諸行事に生徒が積極的に参加している。	164	76	4	0	◎
19	生徒同士が高めあう環境があり、良い刺激を受けている。	112	119	13	0	◎
20	教育活動を推進するに当たり、生徒・保護者の人権に配慮がなされている。	110	116	17	1	◎



# 学校評価集計結果の分析・考察及び改善策の検討

令和元年度

## 教務部

### 1. 集計結果の分析・考察

- 昨年度と同様全ての項目で◎であった。
- 全員がA・Bと評価したのは、7項目であった。(昨年度8項目)
- 1・4・6・10・11はAが過半数を超える高評価であった。各校務分掌の担当者が昨年度の反省を活かし、改善・改良に努めた結果だと思う。
- AよりB以下の評価が高く(5人以上)なったのは、以下の項目である。

#### 3. 「分掌相互の連携」

- 14. 「中学校・地域との連携」
- 15. 「保護者・地域との信頼と期待」
- 16. 「職務の効率化」
- 17. 「校内研修の計画」

特に、16についてはC・Dの評価が4人と多い。今後、改善に向けて検討していきたい。

学年3クラス規模の小規模校であるが、課外・行事も多く、多忙な校務の中ではあるが、地域・中学校・保護者の意見を生かし、期待と信頼に応える具体的な取り組みが必要である。

### 2. 改善策及び今後の在り方・方向性等

- 「校務分掌の相互連携」「職務の効率化」については、各分掌の引き継ぎをしっかりと、各自が、業務内容を把握する必要がある。引き継ぎがしっかりと出来るよう、各人が校内LAN上のファイルの整理、文書の整理に務め、また、各分掌のマニュアルを作成する必要がある。
- 「中学校・保護者・地域との連携」については、昨年度から塾高連絡会を行い、今年度からFI委員会の委員に塾関係者を選任している。塾・中学校を通して得られる保護者・地域の声を学校運営に活かすよう、より一層努めていきたい。

全体的に高い評価ではあるが、より円滑な学校運営ができるよういろいろなアドバイス等をいただきたいと考える。

活力ある学校作りを進めるとともに、保護者や地域・中学校や関係機関との連携を密にし、募集定員の確保につなげたい。保護者や地域との互恵関係が築ければ、部活動や学習面でも指宿高校にとってプラスに効果が働くと思われる。

# 学校評価集計結果の分析・考察及び改善策の検討

令和元年度

## 生徒指導部

### 1. 集計結果の分析・考察

- ・昨年同様、20項目診断のうち、20項目全てで総合判定が◎であった。
- ・A、Bのみは2項目（昨年5項目） Dのついた項目は2項目（1人の方）（昨年は0）
- ・Cをつけた項目は18項目の延べ人数37人（昨年15項目延べ人数23人）で多少増加してしまった。
- ・A、Bのみの回答があったのは、11 部活動と学業との両立を目標として・・・  
12 生徒会役員（執行部・HR委員等）にリーダーとして自覚と責任を持たせ・・・の2項目（昨年5項目）
- ・A：よくあてはまる と答えた評価が過半数を超えた項目は、上記の12以外に  
3：命の大切さや人権を尊重する心（いじめに関する教育）・・・ 4：日頃から問題行動や事故等を未然に防ぐための・・・ 5：地域社会から本校が信頼を得ているかを確認し、・・・ 6：生徒の基本的な生活習慣の確立を図るとともに社会規範を・・・ 9：きめ細かな教育相談の研究と実践が行われており、問題がみられる生徒にはよく意思疎通を図り・・・ 13：校内・校外巡回指導を必要に応じて実施し、・・・ 14：登下校指導・服装指導を通して、あいさつの励行や・・・ 16：職員間の連絡を密にしながら、生徒とコミュニケーションを図り・・・ 17：読書の勧めと有効な図書を整備・活用がなされており・・・ 18：掲示板や図書館だよりを通じて新刊案内等の情報発信に取り組んでいる。 の11項目であった。（昨年8項目）
- ・昨年は C：あまりあてはまらないが4人以上いた項目がひとつもなかったが、今年度は3項目あった。2：「生徒指導は全職員で行う」という共通理解と指導体制が確立されている。 7：諸活動を通して、自主的活動を引き出すとともに、学校生活に目標を持たせ、中途退学の未然防止に努めて 15：生活のリズムが整っていない生徒を対象に、自学自習や過ごし方等を指導している。 の3項目であった。
- ・昨年度と比較して、大きく変化はないように思われるが、Cの延べ人数の増加を考えると来年度へ向けて職員間で確認する必要がある。

### 2. 改善策及び今後の在り方・方向性等

- ・生徒指導部の係で、チーフの先生を中心として連携をとりながら非常に良く動いていただいていると思う。
- ・今年度スマホ・携帯に関する講演会を開催したが、毎年か隔年で実施した方がよいと感じる。
- ・自転車の荷台に鞆をくくりつける規定は、年度当初スムーズにいった感じはしたが、後半多少守られていない生徒が出始めているので、指導を徹底したい。
- ・挨拶、身だしなみ等生徒一人一人の意識づけをしっかりと確立させていきたい。

# 学校評価集計結果の分析・考察及び改善策の検討

令和元年度

## 進路指導部

### 1. 集計結果の分析・考察

#### ① 進路指導部集計より

今年度すべて◎，昨年度すべて◎，一昨年度「12進路講演会」以外すべて◎

A～Dの評価が大きく変動した項目（注意を要する項目）←昨年度

7「朝課外30分有効活用」 A 18 B 10←A 13 B 14

5「自主的な学習姿勢」 C 3・D 0←D 1

8「課題の適正化」「宅習習慣定着」 A 5 B 21 C 3←A 10 B 13 C 5

#### ② 保護者評価集計より【項目11～15】昨年度・一昨年度は，すべて◎

1 学年の15「学習と部活動の両立」は△。昨年度・一昨年度は◎

（それ以前までは，△が続いていた）

C・D評価の変動について【今年度←昨年度←一昨年度】

項目11が30人←31人←29人，12が22人←16人←12人，13が←18人18人←13人

※ C・D評価の延べ人数では，1年部58人・2年部50人・3年部45人

#### ③ 生徒自己評価集計より【項目2・7・12～14・18～21】

7「先生から適切なアドバイスをもらっている」・12「ノートのと리카た・利用の仕方を工夫している」は，全学年ともに◎（昨年度は2年△）

14「進路だよりを読んでいる」1年×・2年△・3年△←1年△・2年×・3年△

19「課題（宿題）は適切な量」全学年とも△（昨年度は2年のみ△）

20「疑問・質問・悩みの相談に応えてくれる」1・2年◎

3年△（昨年度に，2年時も△）

### 2. 改善策及び今後の在り方・方向性等

#### 14について

「進路だより」の必要性を感じてもらえる中身の充実と利用方法については，学年（職員）との連携を図る。但し，昨年度以来好転していないため，進路部発行でなく，学年他の発行を薦め，より生徒に届く形への転換を考えても良いのではないかと考える。

# 学校評価集計結果の分析・考察及び改善策の検討

令和元年度

## 保健部

1 集計結果の分析・考察
<ul style="list-style-type: none"><li>・全ての項目で◎(A+Bが80%以上)であった。</li><li>・評価項目13と14の生徒職員が一体となって校内美化，資源ゴミの分別収集のA評価が低く，C評価も2，3ではあるが他項目と比べて多かった。</li><li>・評価項目11の生徒の自主性をいかした体育的行事の実践についてもC評価が3人の方からあった。</li></ul>
2 改善策及び今後の在り方・方向性等
<ul style="list-style-type: none"><li>・評価項目13，14，15については環境美化係，保健部でも反省をして，次年度にしっかりといかしたい。</li><li>・体育的行事については，体育委員会を中心に年間で先を見通して計画，実施，反省をさせたい。</li></ul>

# 学校評価集計結果の分析・考察及び改善策の検討

令和元年度

## 教職員自己評価

<p>1. 集計結果の分析・考察</p> <p>〔全体的な傾向〕</p> <p>昨年に続き、総合判定は、すべての項目で◎となっている。ほとんどがA・Bの評価である。Aの評価で見ると、12と13の項目が6で最も少ない。また、12の項目でCの評価が4・Dの評価が1で、CDが最も多かった。</p> <p>〔Aの評価の少ない項目の分析・考察〕</p> <p>○12（学習の記録表等を活用した学習の習慣化の指導）について</p> <p>教職員の長時間労働や校務の多忙化の状況下で、担任を主として日々「向上の道」（学習の記録表）の点検業務を行っている。普段、学習の記録に携わっていない職員はAの評価につながっていないと思われる。また、生徒に学習習慣をつけるよう指導しているが、生徒の学習習慣の定着化につながっていない、ということでC・Dの評価をつけたのではないかと思われる。</p> <p>○13（特別活動（LHR・学校行事・生徒会等）への取り組ませ方、生徒の活動について）</p> <p>LHR・学校行事・生徒会活動は担任または係主体となるため、それ以外の職員は直接的に携わっていないからとの意識からAが少ないと思われる。</p>
<p>2. 改善策及び今後の在り方・方向性等</p> <p>〔改善策〕</p> <p>12（学習の記録表等を活用した学習の習慣化の指導）については、現在のところ主に担任または携わっている副担任が評価している。今後、客観性確保のため、学校全体として評価できるような様式等を検討する必要がある。また、学習の記録表が生徒の学習習慣の定着化に、どのようにつながっているかを職員全体で考えていくことも必要である。</p> <p>13の項目（LHR等特別活動への取り組ませ方）についても、主に担任または携わっている係でないと評価しづらい内容である。</p> <p>担任だけ・係だけの仕事とならないよう、職員全体で考え、支えあっていくような、連携した教育活動を目指していくべきだと考える。また一方では、仕事を公平に分担できるような体制の構築も図っていくべきだと考える。</p> <p>〔その他の項目の今後のあり方・方向性〕 ※評価の高いものについて</p> <p>4の服務規律の遵守に関しては、ここ数年間繰り返し、逐次職員への呼びかけ・校内研修などが行われてきていることが、高い評価につながっている。今後も日頃からの教職員への意識付けを継続的に行われていけば、服務規律遵守の自覚を維持できるであろう。</p>

# 学校評価集計結果の分析・考察及び改善策の検討

令和元年度

## 1 学年

### 1 集計結果の分析・考察

#### 1 学校行事・特別活動に関する評価（番号1～8）・・・◎6，△2

昨年度は全て◎であったが，△が2となっており積極性がやや欠けるようである。「1：学校行事への積極的な参加」は84.9%がAと答えており，積極的に参加している（昨年度88%）。一方，「5：保護者に配布物を渡し，学校のことを話す」は24.4%がC，Dと回答しており，家庭との連携が不十分であることがうかがえる（昨年度16%）。また，「8：部活動や生徒会活動に積極的に参加」は21.0%がC，Dと回答している。

#### 2 行動規範・行動倫理に関する評価（番号9～11）・・・全て◎

「10：携帯電話などを学校に持ち込まない」は4人がDと回答しているが，この中には許可を得て校内に持ち込んでいる生徒も含まれていると思われる。「9：交通ルールや社会生活のマナーを守っている」は86.0%がAと答えており，決まりやマナーを守るなど高校生として必要な常識は身につけていると思われる。

#### 3 学習・進路意識に関する評価（番号12～14）・・・◎2，×1

「14：「進路だより」を読んでいる。」は54.7%がC，Dと回答しており，進路意識の低さが表れている（昨年度46%）。進路だより＝じりつ「自律と自立」であることに気づいていない生徒も含まれていると思われる。

#### 4 保健・安全面に関する評価（番号15～17）・・・全て◎

「17：災害時の行動」は15.1%がCと回答しており，災害時の行動の理解が十分ではないことがうかがえる（昨年度20%）。

#### 5 指導に関する評価（番号18～22）・・・◎4，△1

「19：課題は適量である」は26.7%がC，Dと回答しており，Dが9名いた（昨年度3名）。「21：先生方の態度は公正である」はDが5名，Cが12名で，割合にして19.8%が不公平感を持っている。（昨年度15%）。

### 2. 改善策及び今後の在り方・方向性等

- ・ 1 学校行事・特別活動に関する評価「8：部活動や生徒会活動に積極的に参加」21.0%がC，Dと回答および保護者評価「学習と部活動の両立がうまくなされていない」25.0%がC，Dと回答から，生徒が学習と部活動を両立できるような声かけが必要であると思われる。
- ・ 5 指導に関する評価「19：課題は適量である」に関して，生徒の学力に合った課題の内容および量であるか再度検討して，個に応じた課題を出すなどの工夫が必要である。
- ・ 5 指導に関する評価「21：先生方の態度は公正である」19.8%がC，Dと回答及び保護者評価「生徒一人一人を大切に個に応じた指導がなされている」14.1%がC，Dと回答から，PTAや教育相談等を活用して，普段から生徒や保護者とのコミュニケーションを増やす努力が必要であると考えられる。

# 学校評価集計結果の分析・考察及び改善策の検討

令和元年度

## 2 学年

### 1 集計結果の分析・考察

- ・ 22項目中◎が18項目△が4項目であった。1学年◎18項目，△3項目，×1項目。3学年13項目，△9項目と比べとも，あまり差はないようである。
- ・ 診断項目14「進路だより」を読んでいるが，3学年とも低い。
- ・ △について  
診断項目5配布物，14進路だより，15基本的な生活習慣，19課題の量，の評価が低い。
- ・ ◎ではあるが，CとDで2桁人数の 8 部活動や生徒会活動に積極的に参加  
11 困っている人や手助けを求めている人に対して・・・ 12 宅習や授業中のノートのとりかた・・・ 16 任された区域の清掃に一生懸命・・・  
17 地震や火災等の災害時にどのような行動を・・・ 20 先生方は日頃から声を掛けて・・・ 22 先生方の学校生活での生徒に対する態度は・・・の7項目は考えなければならないと思う。
- ・ 進路指導部から出されている【じりつ「自律と自立」】を進路だよりとっていいない生徒がいるのでは。
- ・ 生徒自身の生活についての反省と教職員への検討すべき点に分かれる。

### 2. 改善策及び今後の在り方・方向性等

- ・ 「進路だより」等の配布物については，時にS H R・終礼・朝読書の最初に読ますなどの手立ても必要かと思われる。
- ・ 診断項目5の配布物や学校のことについての家庭での会話についてはP T A 総会やP T S Aなどで話題にしてみるのも一つの手立てである
- ・ 診断項目15基本的な生活習慣が身に付かないのは，スマホ等の影響も十分に考えられる。学校側からも家庭でのスマホに関するルールを作るなど協力を求めなければ，学習習慣も身に付いていかない。
- ・ 診断項目19課題については検討も考えなければならないのか？

# 学校評価集計結果の分析・考察及び改善策の検討

令和元年度

## 3 学年

1 集計結果の分析・考察
1 生徒学校生活集計について (1) 学校行事・特別活動に関する評価 (番号1～8) 5の配布物を保護者に渡しているかと6の充実した日々を送ることができているの項目が△である。 (2) 行動規範・行動倫理に関する評価 (番号9～11) すべて◎ (3) 学習・進路意識に関する評価 (番号12～14) 12の宅習やノートのと리카タの工夫と14の進路だよりを読んでいるかの項目が△である。 (4) 保健・安全面に関する評価 (番号15～17) 15の基本的な生活習慣が身についているかの項目が△である。 (5) 指導に関する評価 (番号18～22) 5項目中4項目で△である。特に22の生徒に対しての公正さの項目は全項目の中で最も低い。 考察 残念ながら私たち教師の生徒の思いが一方通行であることが一部の生徒にはあることは事実である。これに対しては私たち教師の生徒への今まで以上の語りかけが必要であると考えます。
2 保護者評価集計について 全項目について◎である。ただし、コメントの中には学校への要望もある。生徒と同じ私たち教師が公正さに欠けると感じておられる保護者もいらっしゃることを認識しなければならない。放課後学習についても理解が得られていない部分がある。生徒と保護者に説明をさらに詳しくする必要がある。
2 改善策及び今後の在り方・方向性等
1 生徒の学校評価について最も△が多かった公正さについては、私たち教師もしっかりと受けとめ、生徒への語りかけをさらに深める必要がある。 2 保護者に対しては、学校評価の御礼とともに実際にあった要望等を文書で発信する必要があると考えます。来年度のPTA総会では遅すぎるので2月中に文書にまとめ、保護者に発信するようにする。

# 学校評価集計結果の分析・考察及び改善策の検討

令和元年度

## 保護者

### 1. 集計結果の分析・考察

#### ○回収率

全体の回収率は、96.4%（1年96.6%，2年98.8%，3年93.8%）。昨年度は、88.9%

#### ○評価の全体傾向

各学年ともAとBの評価が多く、すべてが◎だった。

10（指導の信頼）11（個に応じた進路指導），14（課題の量），15（学習と部活動の両立）の項目のC・Dがやや多かった。

#### ○項目ごとの集計

< A, Bの合計が多いもの >

18. 文化祭・体育祭・遠行など諸行事に生徒が積極的に参加している。（240人）

7. 服装・髪型・あいさつなどきちんと指導がなされている。（237人）

17. 環境美化に努め、校内・学校周辺の清掃が適切になされている。（236人）

3. 生徒の動静等について、互いの連携はとれている。（234人）

8. 生徒は交通ルール・乗車マナーを守って通学している。（232人）

19. 生徒同士が高め合う環境があり、良い刺激を受けている。（231人）

18, 17は昨年度と同様、評価が高かった。総じて指宿高校生は基本的な生活習慣が確立されており、有意義な学校生活を過ごしていると保護者も感じているようである。

< C, Dの合計が多いもの >

15. 学習と部活動の両立がうまくなされている。（47人）

14. 学習内容及び課題の量は適切である。（36人）

10. 職員のチームワークが良く、指導に信頼がおける。（31人）

11. 生徒一人一人を大切に、個に応じた学習・進路指導がなされている。（30人）

評価の低い項目は例年と変わらない。

生徒の学力差も大きく、個々の指導が難しくなっている現状がある。しかし、進学校としての学力向上、生徒が希望する進路実現への期待も高い。

### 2. 改善策及び今後の在り方・方向性等

生徒の交通ルール・乗車マナーについて評価が高かった一方で、自転車通学のマナーについての指摘があった。継続して生徒に交通ルール遵守の大切さを説く必要がある。

放課後は生徒が部活動に取り組めるように、部活の時間帯を保障することを教職員間で再確認する必要がある。それぞれの教科で指導法を話し合い、学力差に応じた少人数指導、その適正なクラス分けを考えていく必要がある。各教科間で、課題の量の調整を適宜行い、本当に課題の量が調整されているのか生徒の記録する『向上の道』をもとに、再評価する必要がある。

保護者の立場から、指宿高校の活性化と生徒数増加のためのアドバイスをいただいた。各係で検討し、地域の方々により良い指宿高校をPRしていかなければならない。